

船橋西川建設株式会社（北見市）

土木・建築・管・水道施設工事など幅広く手がける総合建設業者として、半世紀にわたり地域社会に貢献しています。

URL：<https://funahashi.ne.jp>

ZERO CARBONの取組

○国内初のCLT建築による積雪寒冷地型「ZEB」社屋



本社は、社屋の建て替えを契機として、一步先の未来を見据えた取組をオホーツク・北見から北海道/全国へ発信すべく、2019年に**全国初の事例となるCLT*1建築と地中熱利用によるZEB社屋**（一次エネルギー削減率：112.9%*2）を実現しました。この取組は、道が主催する令和2年度北海道ゼロ・エミ大賞において、優秀賞を受賞*3しました。

*1Cross Laminated Timber：詳細次頁参照

*2省エネと創エネの正味で100%以上省エネ

*3関連会社の株式会社F・Kが受賞

【地中熱ポンプシステム】

昼夜間または季節間の温度変化の小さい地下の熱的特性を活用した低温熱エネルギーをヒートポンプで必要な温度領域に変換するシステムを導入し、**空調電力消費量を49%削減、CO₂排出量を50%削減**しました。



▲地中熱利用システム

【創エネ（太陽光発電）】

太陽光パネル92枚を設置し、令和4年1月～12月の1年間では、30,486kWhを発電し自家使用することで、**16.7tのCO₂排出削減**に寄与しています。



▲野建て太陽光パネル

特に力を入れていること 工夫している点

【オール道産材！CLT建築】

外壁や屋根にはオホーツク管内をはじめとする**オール北海道産のCLT材**による建築を行いました。

木材は持続可能な循環型資源であり、CLT材の活用により高い断熱性や遮炎性などの複合的効果が期待できます。

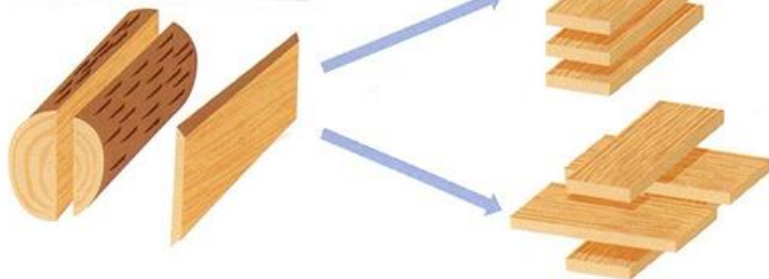
また、2022年には、道が道産木材を使用した建築物を登録する**HOKKAIDO WOOD BUILDING**に管内第1号として登録*4されました。

*4関連会社の株式会社F・Kが登録



▲社屋でのCLT材の活用

原料のひき板



繊維方向に**平行**に重ねると
集成材になる

繊維方向**直交**に重ねると
CLTになる

【エネルギーを管理&見える化】

ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を導入し、自動制御によるエネルギーの最適化を図っているほか、**エネルギー使用量**を見える化をしています。



▲社内での見える化モニター

今後の目標・取組

2022年10月に、ゼロカーボン・チャレンジャーに登録したところであり、今後は、地域の防災力向上に向け、蓄電池やEVの導入を検討していくなど、地域社会への貢献と環境に配慮した取組を進めていきます。